



平成26年度南三陸町読書感想文コンクール及び作品集イラストコンクールの入賞者をお知らせします。(敬称略)

感想文の部

小学校低学年の部

- 最優秀賞  
【名足小】 佐藤 陽樹 (3年)
- 優秀賞  
【志津川小】 佐藤 ひま里 (2年)
- 【名足小】 三浦 青空 (1年)
- 菅原 七翔 (3年)
- 優良賞  
【志津川小】

小学校高学年の部

- 最優秀賞  
【戸倉小】 阿部 巴瑞樹 (6年)
- 優秀賞  
【戸倉小】 須藤 美珠 (4年)
- 後藤 愛 (6年)
- 【入谷小】 山内 美玖 (5年)
- 優良賞  
【志津川小】

中学校の部

- 最優秀賞  
【志津川中】 佐藤 聖悟 (1年)
- 優秀賞  
【志津川中】 佐藤 なお (1年)
- 佐藤 麗 (2年)
- 【歌津中】

イラストコンクールの部

- 最優秀賞  
【志津川中】 高橋 知輝 (3年)
- 優秀賞  
【志津川小】 西城 美空 (3年)
- 優良賞  
【志津川小】 日野 汐香 (2年)
- 高橋 琉花 (2年)
- 熊谷 咲南 (3年)
- 菅原 菜乃花 (4年)
- 伊勢 まどか (5年)
- 行場 望真 (5年)
- 鈴木 拓馬 (6年)
- 石田 拓馬 (6年)

- 渡邊 幼菜 (6年)
- 【戸倉小】 阿部 透也 (4年)
- 西川 瑠奈 (5年)
- 小野 詞誉 (5年)
- 阿部 華 (5年)
- 阿部 滯 (5年)
- 【入谷小】 佐藤 佑樹 (1年)
- 三浦 なぎさ (4年)
- 伊東 美咲 (6年)
- 佐藤 吏莉 (6年)
- 【伊里前小】 阿部 俊樹 (2年)
- 及川 蓮 (2年)
- 小山 真吾 (2年)
- 三浦 真広 (2年)
- 三浦 彩奈 (3年)
- 阿部 桃香 (5年)
- 及川 紗希 (5年)
- 糟谷 幸太郎 (6年)
- 【名足小】 阿部 大斗 (2年)
- 佐藤 海来 (2年)
- 千葉 梨音 (4年)
- 三浦 史歩 (4年)
- 佐藤 夏希 (5年)
- 千葉 優大 (6年)
- 【志津川中】 西川 柚香 (3年)

「自然のかくし絵」を読んで

佐藤 陽樹 さん  
(名足小学校3年)



読書感想文  
コンクール  
小学校低学年の部  
最優秀賞

この本を読んでみたいと思ったのは、国語の学習で同じ題名の説明文を学習したので、同じことが書かれているのか、たしかめたかったからです。本を読んでみると、自然の中にいるこん虫の写真がたくさんあって、それが「ほご色」を使って生きていくことが書いてありました。虫たちは、人にている生き物だと思いません。それはてきから自分の命をまもるために、いろいろなふうをして生きていくからです。「ほご色」もその一つの方ほうであることが分かりました。「ほご色」は、てきから自分の身をまもるために、体の色をまわりの自然と同じような色にすることを国語の学習で知りました。多くのこん虫は、この方ほうで身をまもっています。この本を読んでいくと、「ほご色」は身をまもるだけではなくて、べつなことに役だっていることがわかりました。

め、じつとして草むらにかかれて、近くにこん虫が来るのをまちます。近づいてきたら、すばやく動いてつかまえます。自分の体と同じような色をした場所にいるからできることなんだと思いました。「ほご色」のほかにも、てきから身をまもる方ほうをこの本を読んで知りました。それは「ぎたい」です。「ぎたい」というのは、自分の体の色だけではなくて、すがたもにせることをいいます。国語の教科書にあったコノハチヨウが羽をとじたときは木の葉そっくりなので、「ぎたい」をしているんだと分かりました。ほかにもセスジスカシバというガは、スズメバチと同じようなすがたをして、鳥にたべられないように身をまもっています。これも「ぎたい」なんだと思うと、こん虫は、(何てすごい生き物なんだ。)と、思ってしまった。

と、たくさんこのこん虫を見つけて、近くに行くと、このこん虫がすきです。でも、これからこん虫をつかまえたときには、自然に帰してあげようと思えます。こん虫は、自分の身をまもるために、いっしょうけんめい生きていくからです。

書名：自然のかくし絵  
著者名：矢島稔  
出版社：偕成社

イラスト  
コンクール  
最優秀賞

高橋 知輝 さん  
(志津川中学校3年)

